第99回(2021年6月度)監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純
(文責: 松下 洋二)

1. 開催日時 2021年6月1日(火) 午後2時00分～午後5時00分
2. 開催方法・場所 ZOOMを利用したオンライン会議方式
講師はご自宅より解説
司会(委員長)は自宅より進行
委員は自宅または職場にて参加およびオンライン会議のサポート
3. テーマ レジリエンスエンジニアリングに基づく新しい安全マネジメント
～「失敗を防ぐ」から「成功を続ける」～
4. 講師 (株)社会安全研究所技術顧問、立教大学名誉教授
博士 芳賀 繁氏
5. 出席者 44名
6. 配布資料 (事前に参加予定者にメールで送付)
「監査懇話会監査技術ゼミ レジリエンスエンジニアリングに基づく新しい安全マネジメント～「失敗を防ぐ」から「成功を続ける」～(株)社会安全研究所 立教大学 名誉教授 芳賀 繁」
7. 議事次第
 - 1) 運営委員長より開会の挨拶
菊谷運営委員長よりオンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の芳賀先生を紹介された。
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者はなし。
 - 2) 講義
午後2時4分より3時6分まで、講師から資料に従って丁寧な解説がされた。10分間の休憩を挟み、4時18分まで引き続き資料に沿って解説がされた
 - 3) 質疑応答および意見交換等
講義の後、5分間をチャット記入時間として、午後4時23分から4時55分まで出席会員会友との質疑応答が行われた。なお、質疑はZOOMのチャット機能に合わせて口頭での質疑も受け付けた。参加者からの主な質問や意見は以下の通り。
 - ・ 東京電力福島第一原子力発電所の事故で、例えば電源確保等の最低限の防御が出来なかった理由
 - ・ 「うまくいかないことを最小化」し、「うまくいくことを最大化」するために、日常作業のなかで、「うまくいっていること」をどのように抽出したらよいか。
 - ・ 安全マネジメントと会社の内部統制システムは通じるところがある(不安全と不祥事は同列)と思うが、レジリエンスエンジニアリングは内部統制にも応用できるか。
 - ・ 「しなやかな現場力を育てる」ための方策の一つに「誠実に仕事をする中で起きた失敗を処罰しない」とあるが、業務上過失傷害罪との関係はどうか。
 - ・ しなやかな現場力を育てる「レジリエンスエンジニアリング」について、現場とどのように共有すべきか。「良い仕事をしよう」の掛け声が安全マネジメントではないか。

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請を行った（後日メールで発信）。

さらに、次回の監査技術ゼミは7月12日に開催予定の旨案内した後、閉会となった。

以上